

豆っこひろば ※幼児(6歳まで)とその保護者

“親子で楽しむ自然とのふれあいの時間”と“保護者同士の交流の場”を目的とした年間プログラムです。南房総の自然豊かなフィールドで、自然を楽しむ・新しい子育て仲間をつくるきっかけの場として、ご参加ください。

※28年度「豆っこひろば」と「そら豆ひろば」は合同で実施いたします。

【日にち】

◎4/14(木) ◎6/4(土) ◎10/21(金) ◎11/12(土)
◎1/27(金) ◎2/18(土) ◎3/17(金)



岬の楽校(小学生)

自然の中で思いっきり遊ぶ自然体験活動です。初めてのことに挑戦したり、新しい友達を作ったり、「遊び」の中で育まれる「人と自然」、「人と人」の関係を大切に活動しています。「自然の中で遊ぶことの楽しさ」と「仲間と協力することの大切さ」を感じながら、成長していくことを目標としています。

【日にち】

◆4/17(日) ◆5/22(日) ◆10/16(日) ◆11/13(日)
◆12/11(日) ◆2/12(日) ◆3/11(土)～12(日)※1泊



ソトごはん倶楽部(どなたでも)

お日様の下、皆で作って食べる「ソトごはん」の味は格別！1回からの参加もOK。大人だけの参加也大歓迎。家族や仲間と一緒に、大房岬で「ソトごはん」を楽しみませんか？

【日にち】

●4/30(土) ●5/28(土) ●10/1(土)
●11/5(土) ●3/18(土)



ブラネタリウム(どなたでも)

大房岬自然の家のブラネタリウムで星空さんぽ。満天の星空の下、季節ごとの星座が神話の世界へと連れて行ってくれます。小さいお子様～大人の方まで、どなたでもご参加いただけます。

【日にち】

★4/30(土) ★5/28(土) ★10/1(土)
★11/5(土) ★3/18(土)



その他、「磯の生き物発見ツアー」や大人の方・ご家族向けプログラムなど様々なイベントを予定しています。詳しくは大房岬自然の家HP、チラシ等をご覧ください☆ ご予約、お問い合わせは下記まで♪

イベント用 facebook ページ開設しました！⇒

「南房総で自然体験

南房総自然体験

facebook ページで

検索

野遊び倶楽部」



【発行元】南房総市大房岬自然の家(所長 神保 清司)

(指定管理者) NPO 法人千葉自然学校

〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23

メール: taibusamisaki@chiba-ns.net

電話: 0470-33-4561 FAX: 0470-33-4564

ホームページ: http://taibusa.jp/



はなっと通信

たいぶさ

大房岬の近況報告



気温も徐々に上がり、公園内の桜も咲き始めました。いよいよ春がやって来しましたね。一年を24の区分に分け、それぞれの期間の季節的な特徴を表す名称を付けた「二十四節季」でも、先日「啓蟄」や「春分」を迎えました。これからどんどん陽が長くなり、生き物たちも顔を出し始める季節となります。

このように、日本語には様々な季節の言葉があります。例えば今の時期ですと、菜の花が咲く頃に長く続く雨を「菜種梅雨」、桜が咲く頃に気温が安定せず、一時的に気温が下がる時を「花冷え」など様々な言葉で季節を表しています。大房岬や周辺では菜の花や桜の花がちょうど見ごろなので季節の言葉と

花と一緒に楽しむことができます。せっかくの花の時期に雨や寒さなんて…という気持ちも、こんな素敵な言葉を聞くと、「ちょっと外に出てみようかな」という気持ちになります。

もちろん春だけでなく、他の季節にも様々な言葉が季節を彩ってくれています。先人が作りだした季節の言葉を辿りながら外の風景を巡ってみる、大房岬でそんな季節の楽しみ方はいかがですか？

所長の目線

森・里・川・海 これらを舞台に行われてきた自然体験活動は、スポーツや教育、レジャー活動の枠組みで捉えられてきたが多かったと思います。しかし最近の研究では、自然の中に身を置くことで、私たち人間の心身の健康を保つために様々な良い効果があることが実証されてきました。例えば、陽射しを浴びる、木陰に佇む、裸足で波打ち際を歩く、森でハンモックにゆられるなど、これらのことが心身の癒しにつながっているらしいのです。「子どもが生まれたら潮風に当てに行くと丈夫な子供になるよ」という祖母の言葉を思い出しました。現代社会においては大人も子どもも心身の疲れを覚えつつ生活しています。特に都市部の生活者ほどその影響は顕著だそうです。そうした方たちを是非南房総にお招きして、滞在していただき、心身ともによみがえり帰ってゆく。そんな旅を提供できたらと考えています。心身を癒すことを目的にした旅をヘルスツーリズムという概念で表します。私たちが行ってきた自然体験活動をまた異なる側面から捉えて、エビデンス(根拠)を確立する活動を地域と共に進めています。



●休所日情報● 4月～6月の休所日は次の通りです。

4月1日(金)、8日(金)、11日(月)、15日(金)～17日(日)、5月1日(日)
2日(月)、16日(月)、6月5日(日)



新規プログラム紹介

28年度より新規プログラムが仲間入り。
海で、森で、新しい大房の一面を体験して
みませんか？

★海中観察★

大房岬といえば海のプログラム！だけど潮位が高くて磯遊びは厳しい…。でもやっぱり海の生き物を探したい！という方におすすめなのがこの「海中観察」。箱メガネを使って、海の中にいる生き物たちを探します。潮位が高いのでライフジャケット着用かつ大房スタッフが一緒に活動します。大房岬に棲む海の生き物の生き生きとした姿をぜひ観察してみてくださいね。



★森の生き物発見ツアー★

生き物が棲んでいるのは海だけではなくありません！もちろん森の中でもたくさんの生き物たちが暮らしています。その様子を大房スタッフと一緒に追跡します。足跡や出入りした穴、ご飯を食べた後や糞を辿ると、生き物の暮らしの様子が見えてきます。運が良ければ出会えるかも！?たくさんの発見や学びを得ることで、生き物のことがもっと大好きになるはず。さあ、一緒に森へでかけましょう♪



★フォトフレームづくり★

海や森で遊んだ後は、のんびりクラフトはいかがですか？砂浜で拾った貝がらやシーグラス、森で拾った葉っぱや木の実を使って、オリジナルのフォトフレームを作ります。1人1人の個性が出るので、出来上がった後はみんなで見せあうのも楽しいですね。ぜひ、素敵な思い出を形に残しましょう。大切な宝物になること間違いなしです！

野遊び日和 里山・里海トレッキング



房総半島は高い山はありませんが、森や川、海、低山など自然豊かなところ。トレッキングをする場所として面白いところがたくさんあります。山奥に行くだけがトレッキングではありません。山や森を歩くだけではなく、人里や海辺を歩いたりするのも楽しいものです。今、南房総でロングトレイルというもの開発しています。さまざまな環境の中を楽しみながら歩ける長距離の道。現在、すでに1ルート、作ったのですが、さらにバリエーションのあるトレイルにするべくいろいろと歩いています。実際に行ってみたら道がなかったり、絶景との出会いなど発見の連続。たくさん歩いてみて改めて南房総は良い所だなと思いました。皆さんも南房総を歩く旅に来てみませんか？ 香山（かやまん）



みなみぼうそう 南房総の匠に聴く

vol. ⑮「一般社団法人

森のようちえん



はっぴー」

代表

畠 幸子さん

「森のようちえん」とは

北欧諸国で始まった園舎外での自然体験を主な活動とした幼少期教育のことです。もちろん、森だけでなく海、川、里山、都市公園などの自然環境を生かした活動のことです。

Q「森のようちえん はっぴー」を始めたきっかけは？

もともと地元がこの地域ではなく、引っ越してきました。最初は、森のようちえんをやるというわけではなく、休日に南房総の自然を楽しんでいました。そのうちに、この素晴らしい自然環境は、森のようちえんの活動にぴったりだと思ったのがきっかけです。

Qいわゆる普通の「幼稚園」や「保育園」との違いは？

自然の中では、自分たちの予測できないことがたくさんあります。見たことのないイモムシに出会ったり、昨日まで咲いていなかった花が咲いていたり…。偶然へびに出会ったときは、子ども達は大興奮です。予測できない発見や出会いが子ども達には一番の学びとなります。そういったことをどう教育として取り込んでいくか、常に意識しています。私立の「幼稚園」に勤めていた経験もありますが、この予測できない環境が大きく違うところだと思います。子ども達には教えるのではなく、一緒に共感し、考え、自分で判断し行動を起こせる人になってほしいと考えています。

また、でこぼこした地形や、不規則な木の枝での木のぼりなど人工的でない環境も、幼少期の運動機能の成長には欠かせません。この環境も野外ならではの。

Q今後の「森のようちえん はっぴー」の展望について

もっと外に出て、この素晴らしい自然環境に触れてほしいです。そうすれば、子ども達の世界がもっと広がると思います。南房総の土地に自然保育が根付いてほしいと思います。

活動についての詳細はお問い合わせください

森のようちえん はっぴー

連絡先（メール）info@morihappy.org

たいぶさ樹木ずかん

ハチジョウキブシ
(キブシ科キブシ属)



樹高3～5mになる落葉低木。3～4月に穂状に黄色い花を付け、大房岬の春を告げる花の一つとなります。本種は地域変種で、海岸沿いに多く、キブシよりも実が細長く楕円形になるという特徴があります。

漢字では「木五倍子」と書き、五倍子は染料の一種。昔はこの果実を染料の代わりとして使っていたことからこの名がつけました。

一見すると花に見えにくいですが、サクラ、スイセンに負けず頑張っているの、ぜひ見つけてあげてください♪

場所：運動園地、ビジターセンター前など

スタッフのつぶやき

テーマ「自分を生き物に例えらる？」
スタッフの意外な一面(?)を紹介します。

あちこちと回遊しているウミガメ。または海水。
香山（かやまん）

じっとしているが、常に上（前）向き！ヒラメ。
白井（ねぎ）

冬太り、春夏痩せて、秋太る ツキノワグマ
神保（ジン）

イノシシ。まっすぐしか走れません。ひたすら
突き進みます。 花嶋（ぼによ）

ナマケモノ。普段は無気力っぽいけど、いざというとき俊敏に動きます！ 松田（料理長）

アマガエル。時にアクティブにジャンプ！時に
葉の上でのんびり昼寝♪ 山崎（だいすけ）